だから、おしゃべりはやめられない 84

勅使河原 茜

小原流とのコラボレーション

うだるような暑さと、新型コロナウイルの第7波による感染者増に翻弄された今年の夏。しかし、久々に行動制限がかからなかったこともあり、これまで中止や延期になっていたイベントも各地で続々と開催されたようです。

そんな中、やはりコロナ禍で延期となっていた「一般社団法人いけばな協会設立記念祝賀会」が7月24日に開催され、前代未聞のデモンストレーションが行われました。同協会は私が理事長を、いけばな小原流五世家元の小原宏貴さんが顧問を務めています。記念の会ということで、各流でデモを行うのではなく、2流派合同で実施。お互いが制作した作品の芯（骨格）を交換、さらに相手にいけてほしい花材（1種類）を当日発表する「封じ手」など、趣向を凝らした試みとなりました。

実は小原流家元とのコラボレーションは、これが初めてではありません。終戦の年の1945年、「戦後初のいけばな展」として蒼風と小原流三世家元の小原豊雲氏による二人展が開催され、連日押すな押すなの盛況となったそうです。さらに、1974年にも二人展が開催され、蒼風・豊雲氏による合作が、会場の話題をさらいました。2人はきっといい関係にあったのでしょう。それぞれの才能と表現を認め、これからのいけばな界を考え、挑戦するもの同士として、歴史を刻んできました。

宏貴家元とは年齢こそ親子ほど離れていますが、「ふつうのデモではつまらない。何か面白くしたい」という共通の思いがありました。ミーティングを重ねる中で、冒頭のような斬新なアイデアがどんどん飛び出しました。中でも流派の個性が色濃く出る「芯」を互いに交換していけるというのは、かなり冒険的な試みだったと思います。草月は芯にも様々な素材を使用しますが、今回はより特色が伝わりやすいほうがいいだろうと考え、竹で構成しました。そして交換後テーマを発表し、さらに「封じ手」の花材を交えつつ仕上げていくのですが、草月は小原流が制作した芯を藤づるで巻き込んで骨格をさらに横に広げ、そのうえで展開していきました。芯をプラスするという発想と、それによって生み出される量感はかなり意表を突くものだったようで、その後に行われた対談（この対談は12月1日発売の季刊『草月』冬号に掲載されます）でも、宏貴家元がそのことを話題にされていました。もちろん草月の竹の芯にも小原流の見事な花がいけられ、素晴らしいコラボレーションとなりました。

今回は観覧者の約半分が草月以外という状況だったため、お相手をリスペクトをしつつ、会場にいる草月の方々に恥をかかせるわけにはいけないという、独特のプレッシャーがありました。しかし、その緊張感すらも心地よく、非常に刺激的で、楽しい時間を過ごすことができました。

昨今のいけばな人口の減少は各流派共通の悩みです。しかし、そのような厳しい状況だからこそ、流派の垣根を越えて手を携えることで、人を喜ばせたり感動させたりすることができるのだということを、今回のデモンストレーションで示せたことはたいへん有意義でした。かつての蒼風と豊雲氏のように互いに切磋琢磨しながら、いけばな界を盛り上げていけたらどんなにいいでしょう。今後こういった機会をますます増やしていきたいと思いますし、皆さんも積極的に他流派の方々と交流してみてください。きっと新たな発見があるはずです。

祝賀会の終了後、いけばな小原流五世家元の小原宏貴さんと。
緊張感と新しいことをするワクワク感を
同じステージでともに味わった一日でした。

1 2 3 まずは骨格となる「芯」を制作。小原流は流木や竹の根を使用した重量感のある芯、草月流は空間を舞う竹で軽やかな芯に。
4 各流派を象徴する「芯」の完成。「これからお互いの芯を交換し、いけてまいります」というアナウンスに客席から大きな拍手がわき起こった。

一般社団法人いけばな協会 設立記念祝賀会

2022年7月24日 ／ The Okura Tokyo

5 6「封じ手」の発表。草月流から小原流へは「グロリオーサ」をリクエスト。この花は宏貴家元、そしてその父の夏樹家元もお好きだった花だそう。7 8 作品の完成。茜家元は芯を藤づるで巻き込み、さらに骨格を広げ、色づいた実もの、そして封じ手の「オリエンタルリリー」をいけた。宏貴家元は緑の奥深さを表現。手筒花火を模して作られた花入に、やしの新芽などをいけ、茂みから飛び立つ姿「飛翔」を表現した。

ふたつでひとつの世界

1958年に設立された「いけばな協会」が今年「一般社団法人いけばな協会」となり、その記念祝賀会が東京・虎ノ門のThe Okura Tokyo（旧・ホテルオークラ東京）にて開催された。

式典後に行われたのが、いけばな小原流五世家元・小原宏貴氏と茜家元による特別デモンストレーション。作品の骨格にあたる「芯」の交換や、相手にいけてほしい花材をひとつ当日に発表する「封じ手」など、趣向を凝らした演出で祝賀会を盛り上げた。封じ手は小原流から草月流には「オリエンタルリリー」、草月流から小原流へは「グロリオーサ」と、偶然にも紅白のおめでたい配色となり話題となった。

両作品にはお互いにいけてもらいたいテーマが設けられていた。草月流から小原流へは「飛翔」、小原流から草月流へは「夏灯」、ステージには流派を超えたふたつでひとつの世界が広がり、いけばなの新たな可能性、そして進むべき未来が表現された。

季刊『草月』2022年冬号（12月1日発売）の「家元対談・私の流儀」に小原宏貴家元が登場！デモ直後の二人のトークは必読です。
［草月出版］フリーダイヤル：0120-087-202

実の量感

のばらは力強い表現もできますが、敢えてやわらかく、軽やかにいけました。
空間を十分にとり入れることで、優雅な雰囲気になります。

花材：のばら、けいとう、ヒペリクム　花器：陶器花器（勅使河原宏）　サイズ：112×150×70cm

いいぎりと菊と花器。この３つの関係をシンプルに表現してみました。
それぞれが有する三原色も相まって、対等に互いの魅力を引き立てています。

花材：いいぎり、菊　花器：ガラス花器（岩田久利）　サイズ：87×36×40cm

ろうや柿は実こそ小さいものの、枝は精悍で、力強さがあります。
その独特さを、可憐で優美な花材たちで、ふんわりと受け止めました。

花材：ろうや柿、グロリオーサ、ヒペリクム　花器：陶器花器（あらたにみさ子）　サイズ：120×101×112cm

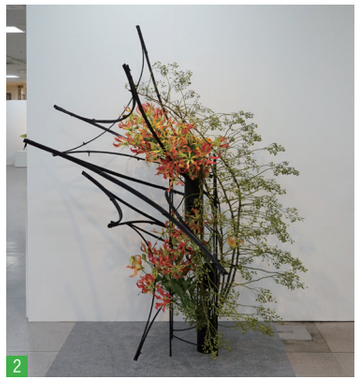
ざくろの柔軟性や弾むような表情をいかしたいと考え、
まゆみとくじゃくそうが綾なすピンクの空間との関係性を強く打ち出しました。

花材：ざくろ、まゆみ、くじゃくそう　花器：自作陶器花器　サイズ：101×123×115cm

千葉県支部展

ハナノフク ―未来をみつめて―（家元出品）

9月2日～5日
そごう千葉店 6 階催事場



1 秋の実ものをいけた家元作品。たくさんの実をつけた見事な枝ぶりや、ビブルナム・コンパクターやつるうめもどきの鮮やかな色彩が目を引いた。
2 野村浩秋支部長の作品。
3 4 多様な表現を追求しながらいけられた中規模の個人作品が並ぶ。
5 6 着色素材や異質素材も交えながら、夏の終わりと秋の始まりの花材が織りなす色とりどりの作品が会場を彩った。

一足早い秋の訪れ

開店から55周年を迎えるそごう千葉店の記念イベントの一環として、千葉県支部展「ハナノフク ―未来をみつめて―」が家元出品のもと開催された。そごう千葉店は千葉駅前のランドマークのひとつであり、普段から駅の利用者や買い物客で賑わっている場所。一般の人に向けても草月の魅力をアピールする絶好の機会となった。

家元は、柿、夏みかん、豆柿、ビブルナム・コンパクター、のばら、つるうめもどきといった早くも色づき始めた実ものをふんだんにいけ、一足早く爽やかな秋風を会場に吹き込ませた。

今回の展示では催事場の2つの空間を使用し、その間を通る通路からは、いけばな作品の数々が買い物客の目にも留まる開放的な構成に。床上がりの合作や個人作を中心に見応えのあるラインナップとなった。

岩手県支部展

未来へつなぐ花

9月3日・4日
アイーナ・いわて県民情報交流センター
4階県民プラザ、5階ギャラリー

1 四役滋陽支部長の作品。
2 猿子滋苑さんの作品。
3 3階から8階まで続く吹き抜けが印象的な会場。
4 5 5階のギャラリースペース。

困難を乗り越え、未来へ

盛岡駅の西口に位置し、交通の便がよく、普段から県民の交流の拠点となっているアイーナ・いわて県民情報交流センターにて岩手県支部展が開催された。

作品は4階の県民プラザと5階のギャラリーの両方で展示。新型コロナウイルス感染防止のため個人作品を中心に構成した。4階では岩手県の伝統工芸である南部鉄器のイメージから、全員が鉄花器に限定して制作した。

今回は茜家元の継承20周年をお祝いし、晴れやかな花展にするとともに、東日本大震災やコロナ禍に遭遇しながらも、これらを乗り越え、未来に向かって草月流の文化と技術を継承していくという強い想いを表現した。来場者はコロナ禍からしばし解放され、明るく自由な空気を思いきり吸い込んだ。

JR鎌倉駅構内に

2019年12月12日～14日
神奈川／JR鎌倉駅構内
上原瑞光

漆の盆に盆石を試みる。岩の代わりに流木を配置し、松、水仙、葉ぼたんなどで正月花をいけた。

ハリウッド映画でいけばな

2019年11月8日～
Netflixにて配信
大谷美香

リドリー・スコット氏が制作総指揮を務めた映画『アースクエイク バード』にていけばな装飾を担当した。

オープン教室にいける

2021年5月10日～17日
岐阜／多治見市文化工房 ギャラリーヴォイス
古田静波

ギャラリーを併設するオープン教室のカウンターで稽古花をいけており、ここで月2回のレッスンも行っている。

百貨店の玄関に

2020年8月17日～23日
宮崎山形屋
坂元涛草

宮崎華道連盟の各流派の支部長・副支部長が交替でいけている百貨店の玄関花。今回は宮崎のガラス作家の花器に。

中平美彦・陶うつわ展

2021年8月4日～10日
東京／伊勢丹 新宿店 本館5階キッチンダイニング／和食器
諸岡萌昇・畠山知香

東京オリンピック開催中の展示会の装花だったため、輪切りの竹を着色し、五輪マークをイメージした。

水のない いけばな

2021年7月14日～8月30日
福井（鯖江市）／真覚寺本堂
藤井春典社中

越前和紙と枯れ素材を使用して、水のないいけばなの制作を試み、夏にふさわしい良作が並んだ。

百花 HYAKKA-MANYO 万葉

新聞社の受付に

2021年10月18日～24日
宮崎／宮日会館受付
清武陽草

さんごみずきを造形し、オーニソガラムと可憐ななでしこを赤と黒の変形花器に。秋の訪れを感じる作品にした。

日本いけばな芸術協会主催いけばな芸術展

2021年10月8日～10日
宮崎（児湯郡）／たかしんホール
草月6名　写真作品：樋口南草

「国文祭・芸文祭みやざき2020」の一環で開催された花展に、秋の花材を豊富に使用した作品を出品した。

2021生涯楽習フェスタ

2021年11月13日
香川（坂出市）／勤労福祉センター
草月6名　写真作品：沼田広菜

坂出華道連盟主催の花展に4流派が参加。コロナ禍で1日のみの開催だったが、出品者は久しぶりの花展を楽しんだ。

都立富士高校100周年「大人の文化祭」

2021年11月13日
東京／なかのZERO 西館 美術ギャラリー
藤本遙染

美術界で活躍する卒業生による文化祭に出品。「草月らしい植物造作を」と、そてつのランプシェードを制作した。

佐伯芸術文化祭 諸流いけばな展

2021年11月20日・21日
大分／さいき城山桜ホールロビー
草月13名

桜ホール2階の大空間に佐伯文化振興会創立50周年を祝う大作をいけ、市民の方々に好評だった。

豊中市文化芸術祭

2021年11月14日
大阪／豊中市立文化芸術センター
草月12名

2年ぶりの開催となった芸術祭。草月は会場の中央に迎え花として大作を展示。多くの方が足を止めていた。

まちなみアート ―my made 竪小路―

2021年11月19日～23日
山口／十朋亭 維新館
乗安幸雨・近藤蛍幹

山口ゆめ回廊博覧会の開催中、アートで満たす5日間に迎え花を制作。期間中に雨が降り、また違った景色も楽しめた。

井上佐芳社中展　はじまりの時

2021年11月19日～23日
高知／五台山　竹林寺
井上佐芳社中　写真作品：井上佐芳・安岡紅豊

紅葉の見頃に開催した社中展。屋内・外に合作・個人作を配し、非日常の空間で多くの方に楽しんでいただいた。

第3回北のルビー展

2021年11月21日～23日
北海道（帯広市）／六花亭帯広本店
鈴木泉晶グループ7名

東京、札幌の珍しい花や十勝の農作物を使った作品を展示。写真作品は十勝の刈り入れ寸前のいちごを使って制作。

第5回徳久星蘭社中展

2021年11月20日・21日
神奈川／そごう横浜店9Fセンタープラザ
徳久星蘭 他8名

白、金、銀を多用して季節を演出。草月流の理念を大切にした作品が並ぶと、ヤフーニュースなどにも掲載された。

留学生と季節のいけばなを楽しむ

2021年11月25日
大阪YMCA学院
指導：神武祥染・清田咲染 他1名

いけばなの歴史と草月について講義後、菊を使ったデモ、グループでいけばな体験、個々での基本立真型の制作を実施。

市総合文化祭

2021年11月23日・24日
宮崎／小林市市民体育館
草月10名

新型コロナウイルスの感染拡大が沈静化していた中、明るい兆しに期待を込めて作品を制作した。

百花 HYAKKA-MANYO 万葉

コロナ禍でのいけばな体験ワークショップ

2021年12月5日
ニュージーランド／ Public Record
村上桂泉

新型コロナウイルス感染警戒レベルが下がって初の週末に、強い要望により、3密を避けてワークショップを開催。

ちょっと早い親子でクリスマス花

2021年12月4日
鹿児島／草月いけばな教室「Moon dust」
指導：山口洋子

自宅で親子でクリスマス花をいける教室を開催。クリスマスカラーの赤・白・緑の花材やモールを使用した。

クリスマスリース作り体験

2021年12月6日・7日
千葉（浦安市）／美浜公民館
主宰：スノーフラワー堀江祥雪

クリスマスリース作りの体験教室を開催。スノーフラワー会員6名に9人の体験者が加わり、有意義な時間となった。

みんなでクリスマスリース作り

2021年12月5日
千葉（市川市）／行徳公民館 研修室
鈴禾（れいか）会

「生のもみの木で作るクリスマスリースを楽しみましょう」というコンセプトで参加者を募集。完成すると笑顔が溢れた。

第14回けやきの会作品展

2021年12月9日～11日
東京／大田区民プラザ地下展示室
根本早暁・猪狩萌彩・木元彩惠・山内七重

7回目の参加となる今回は、プラスの異質素材を紙に限定。紙の種類、色、形状等、各々がアイデアを凝らした。

医療従事者への感謝の花

2021年12月6日～8日
東京（渋谷区）／日本赤十字社医療センター
今村草玉・木皿草枝

我孫子市で60年間で一度だけ花を咲かせた竜舌蘭の葉を使っていけばなに。朝日新聞の千葉版にも掲載された。

クリスマスを楽しむ

2021年12月10日～25日
東京（杉並区）
与田玲子

剪定後のきんもくせいの葉などを使ってリースを制作。通りがかりの人とクリスマスを謳歌した。

写真とコラボ

2021年12月9日～11日
東京／大田区民プラザ地下展示室
草月6名　写真作品：平山菊洸

夫の写真「散歩する村」とコラボ。長野県飯山の雪を晒しみつまた、そこで逞しく生きる女性をウィンターベリーで表現。

Arita×Sogetsu in TOKYO

2021年12月14日～18日
東京／草月会館2階談話室
レッツトライ！デモンストレーション第7期有志10名

佐賀大学が企画、草月がデザインした有田焼の器12点による花展を開催し、有田焼窯元とのコラボの一歩となった。

Joyful Christmas・小さないけばな展

2021年12月11日・12日
東京（千代田区）
石川己青とその仲間達

大作、グループ作品、各自のスワッグを展示し、午後にはデモを披露。家元にもご来場いただき、楽しい花展となった。

花で津ながる　家元継承20周年お祝い花展

2021年12月18日・19日
三重／津リージョンプラザ 展示室
三重県支部 津グループ

花で津・ながる仲間たちが、手作りで、温かくほっとできる癒やしの空間を目標に開催。有意義な展覧会となった。

小林雨虹社中展

2021年12月17日～19日
新潟／内野まちづくりセンター
小林雨虹 他生徒9名

コロナ禍で2年ぶりとなった社中展。草月の幅広さをアピールするため壁作品も展示。多くの方にご覧いただいた。

百花 HYAKKA-MANYO 万葉

鶴岡市芸術祭 閉幕のつどい・記念公演

2021年12月22日
山形／鶴岡市文化会館
山形県支部 鶴岡地区役員

閉幕式のステージに一対の竹作品を制作。その後、同会場内の別の場所に展示を移動し、多くの来訪者を魅了した。

岩田神社　正月用竹作品

2021年12月19日～2022年1月10日
香川（高松市）／岩田神社
香川県支部有志

テーマは「翔（かな）る」。コロナ禍で行動が制限される中、空を翔る鳥のように想像力を自由に膨らませ、作品で表現した。

第4回月翠会いけばな展

2021年12月23日～26日
佐賀県立美術館　岡田三郎助アトリエ・女子洋画研究所
佐賀県支部　月翠会　写真作品：佐田富紅輝（左）・白濵昌秋（右）

月に1回開催する指導者と役員を対象にした研究会。今回は「お正月を彩るいけばな」をテーマに展覧会を開催。

ボランティアいけばな

2021年12月22日～25日
神奈川／相鉄線二俣川駅
森久美子

駅構内での展示。華道に通じている方から「大胆。このような作品は初めて見た」と声をかけられ、励みになった。

吉田正音楽記念館「正月迎え花」

2021年12月29日～2022年1月5日
茨城（日立市）／吉田正音楽記念館
萩谷灑清・杉山貴彩

エントランスと展望カフェに正月迎え花を制作。「本年も明るく元気に過ごせるように」と願いを込めて。

三重県支部　家元継承20周年記念行事
ホテルに飾るお正月花

2021年12月26日～2022年1月8日
三重／都ホテル四日市
三重県支部 運営委員

家元継承20周年のお祝いに際し、支部の行事として8月より数作品を展示。写真は最後の作品。新年の平和を願った。

老人ホームにお正月花

2021年12月30日～2022年1月5日
奈良／平沼寮
岡橋雪星

デイサービスの玄関に新年を迎える花をいける。利用者の方々が、いけこみの様子を笑顔でご覧になっていた。

ウエルカムフラワー

2021年12月30日～2022年1月3日
高知龍馬空港
高知県支部

新型コロナウイルス感染拡大がやや落ち着き、利用客も増えていた時期だったため、多くの方にご覧いただけた。

広報誌に掲載

2022年1月号
茨城／広報『古河』
山田華功

勤務する市役所で行われた市長と落語家の春風亭柳橋さんの対談の場に装花。好評で、広報誌にも掲載された。

新春 正月花

2021年12月30日～2022年1月10日
岡山（美作市）／清次郎の湯 ゆのごう館
大橋義延

2種類の松をメインに、おめでたい正月の花材、竹という構成で仕上げる。花材は自宅で収集したものを使用。

ホテルのロビーに

2022年1月7日～
福島県（郡山市）／ホテルハマツロビー
菅野草苑・星野青菘 他2名

「明るく、日持ちのする作品を」と依頼をされ、枯れ素材、着色素材を使って制作。元気が出る作品だと喜ばれた。

ラウンジを彩る

2022年1月4日～7日
東京／千代田区
市川恵己理

会社のコミュニケーションラウンジに正月花を展示。花をきっかけに交流の輪が広がった。

百花 HYAKKA-MANYO 万葉

成人式にいける

2022年1月9日
福岡（久留米市）／北野生涯学習センター（大ホール）
原千秋・堀内りつ子

新成人を心から応援する花を制作。松とすだれを組み合わせた作品が「ステージによく映える」と好評だった。

第66回全函館華道展

2022年1月8日～13日
北海道（函館市）／丸井今井函館店7階催事場
遠藤樹萠 他6名

大作1点、小品5点を展示。大作は「輝く」をテーマに草月の鉄花器にいけ、新春の喜びを華やかに表現した。

住宅展示場にいけばな

2022年1月9日～17日
岐阜市
山室慶祐

室内の暖房の影響を考え、花材選びにも気を配りながら制作。「お花のある部屋は素敵ですね」と声をかけられた。

華あそび2022～花はいけたら、人になる～

2022年1月9日・10日
京都（相楽郡）／けいはんな記念公園
草月9名

新春の寿ぎを花で彩る「華あそび」。今回はいつも以上に草月らしい作品が並び、特に異質素材の作品が人気を集めた。

名古屋華道文化連盟 ―新春いけばな展―

2022年1月18日～23日
愛知／名古屋市民ギャラリー栄8階
花田真帆・稲垣秀畝・平岩英紗帆・長尾春悦・吉田杏楓・加藤香帆

前回はコロナ禍で中止となり、久しぶりに開催された展覧会。写真作品は稲垣秀畝さん（左）、花田真帆さん（右）。

第10回日南文化フェスティバル

2022年1月16日
宮崎／日南市文化センター
平澤沙香社中

日南市文化芸術協会加盟の24団体が参加。コロナ禍等の影響で2年半ぶりの開催となり、社中で楽しく取り組んだ。

館内を彩る

草月の秋2022
9月7日～27日
玉川髙島屋S・C

恒例の「草月の秋」が開催され、家元と、神奈川県支部、東京西支部、東京南支部の三支部による作品が玉川髙島屋S・Cの館内を彩った。家元はふわりとした割竹のドーム型の作品『まどか』を制作。中を潜り抜けることができ、訪れる人々の話題となった。

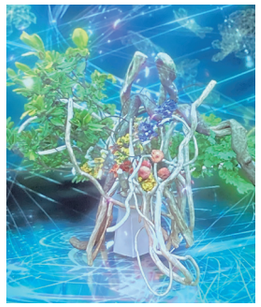
勅使河原茜家元『まどか』

（左）石川己青さんの作品。（中）奥は東京西支部『秋色シフォン』、手前は東京南支部の作品。（右）神奈川県支部『ダイバーシティ』

NFTアート

NAKED meets 千利休
8月6日～9月3日
金沢21世紀美術館 市民ギャラリーB

これまでいけばな草月流とも「FLOWERS」などを通じて度々コラボレーションしてきたネイキッドが、企画展『NAKED meets 千利休』の連動企画として、裏千家 好古庵 奈良宗久氏、いけばな草月流 勅使河原茜家元、志野流香道 若宗匠 蜂谷宗苾氏とアーティスト 村松亮太郎氏がコラボレーションするNFTアート3作品を発表した。



特殊な撮影をし、家元のいけばな作品が3DのNFTアートに。

大地の芸術祭

越後妻有 大地の芸術祭2022「妻有いけばな回廊」
7月16日～10月10日
まつだい「農舞台」フィールドミュージアム

豊かな四季がめぐる里山で一年を通して作品を展示する「大地の芸術祭」。その一環として「妻有いけばな回廊」が開催された。草月流からは、秋山美晴さん、今津友青さん、大谷美香さん、日向洋一さんが参加。越後妻有の雄大な自然に囲まれた野外作品は、景観との調和と意外性のバランスで、散策する人々を魅了した。

本部講師・日向洋一さんの作品「植物に語らせるもの」。

学校いけばな

さまざまな活動を

2021年度

福岡県立糸島農業高等学校
指導：甲斐明葉

糸農祭（文化祭）、卒業式の装花など、年間18回様々な取り組みを実施。3年生部員2名が4級師範を取得し、本人たちと喜びを分かち合いました。

造形展にいけばな体験作品

2021年度

京都市立梅小路小学校
指導：石走俊桂

造形展にいけばな体験で制作した作品を展示。2年ぶりの開催のため、小さかった子たちも6年生に。準備から積極的に手伝ってくれました。

日本文化の継承を

2021年度

三重県立明野高等学校
指導：大間春豊

名称が茶華道部となり、華道・茶道という日本文化の魅力を継承していくことの重要さを再確認しながらさまざまな活動を行いました。

コロナ禍での活動

2021年度

神奈川／鎌倉女学院
指導：的場光芳

コロナ禍ではありましたが、受験生を対象としたオープンキャンパス、学校説明会の装花、文化祭への参加など、年間27回にわたり活動を行いました。

部活動禁止を経て

2021年度

東京／日本女子大学
指導：小林蕉明

年度途中、部活動がリモートになったり、大学から部活動禁止の指示が出たりしましたが、秋ごろ再開。創立120周年記念式典の装花などを制作しました。

少ない活動日の中で

2021年度

千葉／国府台女子学院中学部・高等部
指導：三浦新子

コロナ禍で活動日が制限される中、学院祭はオンラインで実施。広々としたカフェテリアを全部使い、大作をいけて楽しみました。

草月文化活動支援基金へのご協力ありがとうございます

2022年7月～8月に当基金に寄せられた寄付金は、左記の通りです。（掲載は一万円以上、敬称略）

堀田丹順、深澤晴保、渡辺彩花、大泉麗仁、篠田岳青、宮城県支部、SYC東京1、新田陛嘉

嬉しい受賞

尾髙肇江さん（岡山県倉敷市、師範会理事）は、多年（昭和58年～）にわたり少年の非行防止にいけばな指導をし、立ち直りに尽力し、健全育成に貢献したとして、「少年補導栄誉銀章」を受賞しました。

中村昭鳳さん（静岡県沼津市、1級師範総務）は、長年にわたりJICA中部に来館する研修員への日本文化体験教室を通じて国際協力に尽力したとして、「外務大臣表彰（団体）」を受賞しました。

訃報

志田謙（謙篁）北海道／顧問
二〇二二年七月二十日　享年七十二歳

中村由美子（丹峯）兵庫県／理事
二〇二二年七月二十二日　享年七十三歳

宮下倭子（水倭）富山県／顧問
二〇二二年七月二十八日　享年八十五歳

滑川泰代（灑泰）茨城県／理事
二〇二二年七月二十九日　享年七十四歳

鶴本登美子（優水）山口県／理事
二〇二二年八月五日　享年九十一歳

石田美智代（峯笙）東京都／顧問
二〇二二年八月七日　享年六十七歳

伊井京子（京英）富山県／理事
二〇二二年八月十三日　享年七十五歳

中野典子（梨花）山口県／理事
二〇二二年八月十八日　享年八十五歳

看板・席札の料金変更

昨今、使用しております原材料等の価格が上昇しており、看板と席札の申請料金を2023年1月1日より改定させていただきます。

※日本国内申請料金には消費税と送料、海外申請料金には国際航空郵便の送料がそれぞれ含まれています。

●看板
［国内会員（消費税10%・送料含む）］
［海外会員（送料等含む）］
4万4000円

●席札
［国内会員（消費税10%・送料含む）］
2万6400円
［海外会員（送料等含む）］
2万6000円

証書・席札・看板の発送代行サービス（有料）が始まりました

証書、看板・席札は本部から申請者（先生）に送付し、内容をご確認の上、生徒本人へお渡しいただいておりますが、直接のお渡しができず郵送が必要な場合は、本部が発送を代行いたします。

【申込方法】申請時に代行料金を添えてお申込みください。

※お申込みは申請者（先生）に限ります。

※お申込み後の返金はいたしかねます。

※発送先の変更・追加は申請扱日より1ヶ月以内にお申し出ください。

※発行後の発送代行サービスへの受付はいたしかねます。

発送代行料

●申請者（先生）が国内在住会員の場合
［日本国内宛（郵送先1ヶ所につき）］
証書：2000円～
看板・席札：3000円～
［海外宛（郵送先1ヶ所につき）］
証書：3000円～
看板・席札：4000円～

●申請者（先生）が海外在住会員の場合
［日本国内宛（郵送先1ヶ所につき）］
証書：2000円～
看板・席札：3000円～
［海外宛（郵送先1ヶ所につき）］
証書：3000円～
看板・席札：4000円～

※発送量により料金は変わります。（詳細はお問合わせください）

※郵送料の値上げ等に伴い、発送代行料は今後変動することがあります。

お問合わせ
［草月文化事業株式会社 証書作成室］
TEL：03-3408-1128
E-mail：shousho@sogetsu.com

完売御礼

家元継承20周年記念・限定フラワーバッグ「ひらく」は、おかげさまで完売となりました。お申込み多数の絵柄は抽選とさせていただき、抽選の結果は商品の発送をもって代えさせていただきました。今後とも、草月文化事業株式会社の商品をご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

［お問合わせ］草月文化事業株式会社 出版部
TEL：0120-087-202 ／ E-mail：shuppan@sogetsu.or.jp

茜家元と迎える新年の会

草月会館に初もうで！

家元の初いけデモ

座・草月パフォーマンス

家元デザイン花器やホテル宿泊券が当たる
豪華！大抽選会

2023年こそは、皆さまとともに新年を迎えタイ！

2023年1月9日（月・祝）

12時開場／13時開演　※飲食はございません

草月ホール

［参加費］6,600円（税込）　［定員］394名

※支部グループ席・SYCグループ席でお申込みの場合、割引適用あり

同封のチラシをご覧ください

［お申込み期間］2022年12月21日（水）まで

※消印有効　※定員になり次第、締め切らせていただきます。

●同封のチラシ裏面のお申込み用紙に参加費お一人6,600円（税込）を添えて草月会館3階会員サービス部にてお支払いいただくか、お申込み用紙をFAX、Email、郵送でお送りいただき、参加費を指定の口座へお振込みください。振込口座：ゆうちょ銀行00140-2-355112　一般財団法人草月会事務局●個人、団体でのお申込みが可能です。草月指導者連盟会員（2022年度後期会費完納の方）が取りまとめて、ご一緒なさる方の会員番号とお名前をすべて明記のうえお申込みください。●お申込み受付後、チケットを送付します。●お申込み締切後の変更及びキャンセル、ご返金はできません。●追加の場合での隣席のお申し出はお受けできませんので予めご了承ください。●12/27までにチケットがお手元に届かない場合はご連絡ください。●都合により、一部内容に変更が生じた場合には、ご容赦願います。●天災等の事由により、日時及び場所の変更、開催中止になる場合がございます。

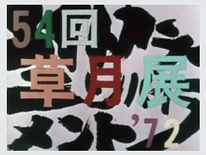
お問合わせ［総務課］　TEL：03-3408-1154　FAX：03-3405-4947　E-mail：somu@sogetsu.or.jp

オンラインで楽しむ　草月のいけばな

「映像で知る草月」特別記録動画　第２弾を配信中！

【特別企画】「草月ってなんだろう？」

「草月ってなんだろう？」を考えるためには、今だけでなく過去の草月も知るべし！
「映像で知る草月」を３回に分けて配信しています。
第１弾に引き続き、現在第２弾の秘蔵映像を配信しています。この機会をお見逃しなく！

配信期間	内　容	料　金
10月31日（月）まで	 ④「第54回草月いけばな展」　⑤「環境といけばな」　⑥「草月の50年」	各1,100円（税込）

【受講対象者】草月を学んでいる方ならどなたでも
【視聴方法】いけばな草月流公式ホームページにある動画配信サイト（当該告知内に入口があります）より、レンタル購入のうえ、ご視聴ください。※メンバーズサイト内にある、動画配信サイトよりご購入ください。

「草月ってなんだろう？」とは……来る創流100周年に向けて掲げたテーマ。
『草』273号（4月号）P2・3「だから、おしゃべりはやめられない」、および公式ホームページにてご紹介しております。

【受講方法】２通りございます。
① 従来のメンバーズサイトからログイン
※お手元にあるスタートガイド、または草月メンバーズサイトをご覧ください
② 公式ホームページから新たにログイン
公式ホームページより直接動画配信サイトに入れます。
・初めての方は、無料会員登録からお願いします。
・以前ご登録いただいていた方は、会員登録の必要はございません。
　ログインして、動画をレンタル視聴いただけます。
※お支払いは、カード決済のほか、銀行振込、草月会館会員サービス部、草月 WEST 窓口でも可能です。
　カード決済以外の場合は入金の処理まで１週間程かかることもありますので、あらかじめご了承ください。

●視聴方法が分からない方へ、本部がサポートします！　お気軽にお問合わせください。

お問合わせ　［ 事業課 ］　TEL：03-3408-1156 ／ FAX：03-3405-4947 ／ E-mail：webinar@sogetsu.or.jp

入会金・再入会金が不要の講座も。この機会に、ぜひご受講ください！

※日程、講師は変更になることがあります。また、新型コロナウイルス感染症の影響や、天災及びその他不可抗力による事由により、開講を延期または中止する可能性がございます。予めご了承ください。
開講予定や申込受付等に変更が生じた場合は随時告知いたしますので、草月流ホームページをご確認いただくか、本部教室または草月WESTまでお問合わせください。

家元研究科

毎回テーマが設けられ、いけばなをさらに深く追究することを目標とします。感性と技術を磨く最高の勉強の場です。AT賞選考対象クラス。

入会金・再入会金が不要

	金	土	月	テーマ	講師
	14 時 /18 時	10 時 30 分 /14 時	10 時 30 分 /14 時		
11 月	11 日	12 日	14 日	ー創流 100 周年に向けてー 草月ってなんだろう？ 私にとって、草月ってなんだろう？	家 元
12 月	9 日	10 日	5 日 ※日にち注意	ー創流 100 周年に向けてー 草月ってなんだろう？ だから、草月が好き！	家 元

●申込方法：入会をご希望の方は、TEL・FAX・E-mail で事前にご連絡ください。毎月の受講は、日程・時間をご確認の上、ご来館ください。 ●受講料：12,200 円（花材費込み） ※ 11 月のクラスは受講生の皆さまよりコメントをいただきます。

私たちは草月をいろいろな角度から見つめ直す必要がある。
「草月ってなんだろう?」

―― 勅使河原 茜　季刊『草月』353 号 2022 夏 より

家元研究科では 11 月より創流 100 周年に向けた「草月ってなんだろう？」を基本テーマとします。
草指連会員の方であればどなたでもご参加可能です。
チャレンジ精神と好奇心を携えて、あなただけの答えを見つけましょう！

家元のデモを間近で見ることができるチャンス。リアルな出会いを大切にする家元らしく、和やかな雰囲気の講座です。

家元教室

資格を問わず、どなたでもご参加いただけるいけばな教室です。
ワンレッスン受講することもできます（※ご入会手続きが必要です）。

再入会金が不要

11 月	火曜	1 日	坂口水恵	8 日	中村草山	15 日	隅出美泉
	木曜	10 日	篠崎洵雅	17 日	岡崎　忍	24 日	加藤久美子
12 月	火曜	6 日	坂口水恵	13 日	篠崎洵雅	20 日	中村草山
	木曜	1 日	隅出美泉	8 日	加藤久美子	15 日	岡崎　忍

●原則として 6 日間、第 1・2・3 火曜と木曜　●10 時 30 分 /14 時 /18 時（各日 3 回開講）　●入会金：11,000 円
●月謝：12,040 円（月 3 回分・花材費別）※証書申請可能。 ※再入会金無料。再入会をご希望の方は事前にご連絡ください。
※月 3 回受講することが難しい方はワンレッスン受講も可（6,440円・花材費込み／都度払い）。

本部教室
〒107-8505 東京都港区赤坂 7-2-21 ／ TEL：03-3408-1209 ／ FAX：03-3405-4947 ／ E-mail：kyoshitsu@sogetsu.or.jp

本部教室
〒107-8505 東京都港区赤坂7-2-21 ／ TEL：03-3408-1209 ／ FAX：03-3405-4947 ／ E-mail：kyoshitsu@sogetsu.or.jp

男子専科

初心者からベテランまで、男性限定のいけばな教室。
いけばな作家や男性指導者の育成をめざすクラス。随時受付。

再入会金が不要

11月	9日（水）　西山光沙	12月	2日（金）　西山光沙
	18日（金）　澤田晃映		14日（水）　岩渕幸霞
	25日（金）　岩渕幸霞		23日（金）　澤田晃映

●開催日は水曜1回、金曜2回　●18時（受付：17時30分～19時30分）　●入会金：11,000円　●月謝：12,040円（月3回分・花材費別）※家元教室・家元研究科への振替ができます。※証書申請可能。※再入会金無料。再入会をご希望の方は事前にご連絡ください。※月3回受講することが難しい方はワンレッスン受講も可（6,440円・花材費込み／都度払い）。

インターナショナルクラス

外国の方々を対象としたクラスです。授業は英語で行われます。

11月	7日　福島光加	12月	5日　福島光加
	14日　坂口水恵		12日　高木水染
	21日　石川己青		19日　高木水染
	28日　坂口水恵		26日　石川己青

●毎週月曜日　●10時30分～12時30分　●受講料：5,600円／1回（花材費込み。月4回目以降は5,240円）
※証書申請可能。※祝日は休講となります。

公開講座

普段のお稽古ではなかなかチャレンジできない内容で創造性を大きく伸ばすチャンス！
経験豊富な講師の講義で、知識と技の引き出しがさらに広がります。

受講日	テーマ	講師	内容
11月12日（土）	楽しくアート作品を創作 ※2020年7月より延期。再募集です!!	 丹野霞園	粘土を既成概念ではなく、逆転の発想により、作品工程の中に取り入れ、石膏作品を2つ以上作成し、それぞれの作品を1個のオブジェとして完成させます。 又、それらを花器としていけばなをいけることで、新しい自分を発見してみませんか。 今回、様々な工程により、今までの概念を別の方向から考えることができ、チャレンジする面白さを実感できることでしょう。是非お楽しみください。
12月10日（土）	ローソクの色遊びでクリスマスを	 本江霞庭	ガラスの瓶・コップ・板等に色ローソクで立体感を出し、偶然から生まれる色や流れを楽しみながら制作し、クリスマス花材と共に、一味違ったクリスマス花を楽しみましょう。

●授業時間：10時30分～16時　●受講料：12,970円（材料費・昼食代込み）／入会金なし
●申込資格：草指連会員　●定員：40名　●募集：随時受付中。郵便振替または会員サービス部窓口でお申込みください。［郵便振替口座］口座番号：00180-6-119808／加入者名：（一財）草月会 教室運営課　※払込取扱票の通信欄に①受講希望日②草指連会員番号③名前④（お持ちの方は）メールアドレスをご記入ください。●申込締切：開催日の1週間前（ただし定員になり次第締め切ります）　※お申込み後のキャンセル・ご返金はいたしかねます。※お申込み後でも、翌月以降（年度内）に振替受講が可能です。ご希望の方は、受講日の10日前までにご連絡ください。それ以降のご連絡の場合、実費（材料費および昼食代）をいただきます。

特殊花材を学ぼう！「型」から自由花へ－万年青（おもと）－

技術の継承＝生産者の支援につながります！

受講日	講師	内容
2023年 1月19日 （木）	 石倉菘清	古来より行事や生活習慣と結びついて親しまれてきた特殊花材の扱い方やいけ方を習得し、継承していくことを目的とする講座です。 いけばなの歴史の中で、特殊な格調高い「型」をいまに伝えている花材があり、おもともその一つです。草月では決まった項目のないおもとですが、美しいとされている「型」を伝える知識や技術をしっかりと学び、正しく身につけ、その上で草月らしい自由な表現もたのしむと良いでしょう。 写真作品：勅使河原蒼風

●授業時間：13時～16時　●受講料：11,500円（材料費込み）　●申込資格：草指連会員　●定員：30名（先着制）
●申込方法：はがき・FAX・E-mailなどに、①名前②草指連会員番号③住所④電話番号⑤（お持ちの方は）メールアドレスをご記入の上、「特殊花材を学ぼう！「型」から自由花へ－万年青－」受講希望の旨を教室運営課までお知らせください。
●申込締切：12月23日（金）（ただし定員になり次第締め切ります）

「理事・顧問昇格試験　体験講座」ご案内

いよいよ草月最高峰の資格に臨む皆さまへ、昇格試験模擬講座のご案内です！ 皆さまからのご要望にお応えし、本番を再現したリハーサル形式で「解答用紙の書き方」や「花型図の描き方」など、合格のためのポイントを小沢清香師範が丁寧にご指導いたします。疑問点を解決し、万全の準備で試験に臨みましょう。

東京教室	草月WEST
日　　時：12月7日(水)10時30分～16時 会　　場：草月会館5階教室 申込締切：11月30日(水)	日　　時：12月13日(火)10時30分～16時 会　　場：草月WEST 申込締切：12月3日(土)

●受講資格：理事・顧問昇格試験受験希望者（お申込み多数の場合、今回受験予定の方を優先とさせていただきます）。昇格試験の受験は、親先生の推薦が必要です。●講師：小沢清香　●受講料13,200円（花材費、昼食代込み／東京・草月WEST共通）　●内容：午前／花型図　午後／実技
※内容は変更になる場合があります。
※2022年度の昇格試験は、理事・顧問が同日に行われます。
東京：2023年1月27日（金）　草月WEST：2023年1月29日（日）
【申込方法】はがき・FAX・E-mailなどに、①名前②草指連会員番号③住所④電話番号⑤希望会場⑥推薦者のお名前（親先生名）を明記の上、教室運営課、または草月WESTの「理事・顧問昇格試験　体験講座係」宛、東京は11月30日（水）、草月WESTは12月3日（土）までにお申込みください。お申込み後、受講案内と振込用紙をお送りします。※お申込み後、2022年度の受験予定の有無を確認させていただく可能性がございます。

随時募集中　陶芸コース

自作花器を作りたい方、ものづくりが大好きな方大歓迎！　なごやかな雰囲気でゆっくり制作できます。初心者、入門の方もお待ちしております。

植物が持っている美しさだけに頼らない造形力を身に付けるため、1981年に宏前家元の提唱で開講した「造形科教室」。
幅広い角度から「創造する精神」を学ぶ本講座は、草月の大きな特色となっています。
陶芸コースが2022年度受講生を募集！　草月流を学んでいる方ならどなたでもご受講いただけます。

受講日
原則 月2回 火曜日、水曜日 ~~①6/21・22~~　~~②7/19・20~~　~~③8/23・24~~　~~④9/27・28~~　⑤11/8・9　⑥12/20・21　⑦2023年1/24・25　⑧2/14・15

●講師：加藤清之（監修）・飛松弘隆 ●授業時間：11時～16時　●受講料：年間8回コース101,620円、年間5回コース71,240円（※焼成費、送料別途）、体験レッスン15,000円（未経験者対象、1回のみ、焼成費と送料込み）　●申込資格：草月流学習者（入門の方からご受講いただけます）　●申込方法：はがき・FAX・E-mailなどに、①名前②草指連会員番号③住所 ④電話番号 ⑤（お持ちの方は）メールアドレスをご記入の上、「陶芸コース」受講希望の旨を教室運営課までお知らせください。●申込締切：随時お申込みいただけます。

本部教室
〒107-8505 東京都港区赤坂7-2-21 ／ TEL：03-3408-1209 ／ FAX：03-3405-4947 ／ E-mail：kyoshitsu@sogetsu.or.jp

草月WEST
〒600-8842 京都府京都市下京区朱雀堂ノ口町20-4 ホテルエミオン京都一階 ／ TEL：075-366-3647 ／ FAX：075-366-3648 ／ E-mail：west@sogetsu.or.jp

家元研究科

講師からはテーマは出ません。受講者自らが考え、自由に植物表現を探究します。新入会・再入会大歓迎。AT 賞選考対象クラス。

入会金・再入会金が不要

	金曜	土曜	テーマ	講師
	14時30分	10時30分 /14時30分		
11月	18日	19日	探究「私の花」	片山　健
12月	16日	17日	ー創流100周年に向けてー 草月ってなんだろう？ 2027年の創流100周年へ向け、新たなテーマが掲げられました。 「私はなぜ花をいけるのか？」、「私が目指す植物表現とは？」、「私が追求したい素材は？」、「自由花って何？」これらの問いに対する答えを追求し続け、あなたにとっての「草月」を探求しましょう。	家 元
2023年1月	20日	21日		竹中麗湖

●申込方法：はがき・FAX・E-mailなどの書面で、希望日時・名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。●受講料（家元）：12,200円（花材費込み）／（本部講師）：10,100円（花材費込み）※授業開始の20分前から受付を開始します。 ※12月のクラスは受講生の皆さまよりコメントをいただきます。

家元教室

毎回テキストのテーマからの2作、講師のデモンストレーションがあります。たっぷり勉強できる充実の2時間。

再入会金が不要

11月	金曜	4日　岡本青珠	11日　加藤久美子	25日　石川己青
	土曜	5日　〃	12日　〃	26日　〃
12月	金曜	2日　澤田晃映	9日　中田和子	23日　五十野雅峰
	土曜	3日　〃	10日　〃	24日　〃

●月3回　金曜・土曜　●金曜（14時30分／18時30分）、土曜（10時30分／14時30分）　●入会金：11,000円　●月謝：11,000円（月3回分・花材費別）●申込方法：はがき・FAX・E-mailなどの書面で、希望日時・名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。 ※証書申請可能。 ※月3回受講することが難しい方はワンレッスン受講も可能（4,500円・花材費1,700円／都度払い）。 ※見学可能。

土曜日14時30分からの家元教室は、オンラインでも受講できます！

世界中のどこからでも参加できる「オンライン家元教室」。 東京・草月会館または京都・草月WESTの「家元教室」に在籍している4級師範以上の方、あるいはテキスト3・4を履修中の普通級の方であれば、どなたでもご参加いただけます。

【お問合わせ・お申込み】
草月WEST ／ TEL：075-366-3647　E-mail：west@sogetsu.or.jp

公開講座

ご希望のクラスを1回ごとにお申込みできる魅力ある講座です。
講師の個性がいかされたテーマにチャレンジできます。ぜひご受講ください。

受講日	テーマ	講師	内容
12月6日(火)	演出！ ちょうちんひごと 和紙、金色の箔で 個性豊かな正月花	 隅出美泉	ちょうちんひごと和紙でオブジェを制作します。金色の箔や墨汁でアクセントをつけながら、様々に造形する美しさを楽しんで下さい。個性豊かなお正月の祝い花を演出しましょう。

●授業時間：13時～16時　●受講料：4,400円（教材費別）　●申込方法：はがき・FAX・E-mailなどの書面で、希望日・名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。●申込締切：開催日の前々週の週末

お気軽「草月WEST体験」参加者大募集！

グループに草指連会員が1名いれば、どなたでも参加OK!

草月WESTを気軽に体験してみませんか？　京都観光と一緒に草月WESTにも足を延ばしてみましょう。
お友達や社中の方を誘って気軽にご参加ください。近くの観光スポットもご紹介します。
もちろん授業のない日に、ふらっと見学も大歓迎です！

【参 加 料】　3,000円／1名（花材費込み）
【開 催 日】　日曜日（授業やイベントの開催が無い日）
※要予約／希望日2週前の日曜日までにお申込みください。
【開催時間】　① AMコース：10時30分～　② PMコース：13時～（各1時間～1.5時間）
【最少催行人数】　3名（草月指導者連盟会員が1名いれば、グループ内は会員外の方も参加可）

①花材や道具は草月WESTにて準備しております。
当日は手ぶらでお越しいただけます。
②花と花器を選び、自由にお花をいけます。
いけばなガイドが皆さまをサポートいたします。
③教室内のお好きな場所で作品を撮影し、SNSにアップ！

●申込方法：はがき・FAX・E-mailなどの書面で、①希望日・コース②名前（参加者全員分）／（以下は代表者のみ）③草指連会員番号④住所⑤電話番号⑥メールアドレス⑦門下別をご記入の上、草月WESTまでお送りください。※事前にお電話、E-mailなどで希望日をご確認ください。●申込締切：希望日2週前の日曜日

サブスクリプション（定額見放題）の動画配信サービス

anytime SOGETSU　エニタイム・草月

100本以上の動画を見放題	anytime SOGETSUは勅使河原茜家元と草月流本部講師による、いけばなデモンストレーションの動画が月額定額で見放題となるサービスです。草月のエッセンスが詰まったテキストに掲載されている各テーマより、実際に草月WEST家元教室などで披露されたものを、何度でも必要な時にご覧いただくことができます。毎月新しい動画が追加されます。	月額※ 2,200円（税込） ※開始日より起算
動画の個別販売	サブスクリプション（定額見放題）は「ちょっと負担」という方は、目的の動画を1本から購入できます（30日間見放題）。	1本 550円（税込）～
無料動画コンテンツ	無料でご覧いただけるコンテンツとして「草月WEST　家元教室いけばな展」、「ホテルエミオン京都のロビーのいけ込み風景」、「いまさら聞けないいけばなの基礎知識　ハサミ編」もございます。 ※ご視聴いただくには会員登録（無料）が必要となりますので、この機会にぜひご登録くださいませ！	0円

動画本数100本を突破いたしました！

草月WESTのオープン記念として2020年10月に配信された「Welcome SOGETSU WEST」の再アップ動画や季節ごとの「Special動画」もお楽しみいただけます。

無料動画「いまさら聞けないいけばなの基礎知識　ハサミ編」の様子

anytime SOGETSUには、草月流ホームページの「草月を習う」メニュー、または上のQRコードより、どなたでもお入りいただけます。https://www.sogetsu.or.jp

草月WEST
〒600-8842 京都府京都市下京区朱雀堂ノ口町20-4 ホテルエミオン京都一階 ／ TEL：075-366-3647 ／ FAX：075-366-3648 ／ E-mail：west@sogetsu.or.jp

年間行事予定

10月13日(木)	財団理事会
10月16日(日)〜23日(日)	YAMANAKA花回廊 PART18(山中温泉／石川県加賀市)
10月19日(水)〜24日(月)	第103回草月いけばな展(日本橋髙島屋S.C.)
10月26日(水)〜31日(月)	創立55周年記念 日本いけばな芸術展(大阪髙島屋)　※家元通期出品
11月22日(火)・23日(水・祝)	オータムセミナー(草月会館)
12月29日(木)〜2023年1月5日(木)	草月会館・草月WEST冬期休館日
2023年1月9日(月・祝)	茜家元と迎える新年の集い(草月ホール)
2023年1月18日(水)	財団理事会
2023年3月31日(金)	花に感謝の日(草月ホール)

支部展

京都支部展「秋だ! SOだ! WESTだ!」	10月8日(土)〜10日(月・祝)　ホテルエミオン京都 10月9日(日)・10日(月・祝)　草月WEST	森英琴	☎ 075-601-9209
栃木県支部展「秋うらら〜花とあそぶ〜」	10月19日(水)〜23日(日)　福田屋百貨店(FKDショッピングプラザ)宇都宮店3階催事場	荒川映翠	☎ 080-5382-5962
新潟県支部展「花のちから〜新しい空間に挑戦〜」	10月22日(土)・23日(日)　新潟日報メディアシップ	荒川玉萩	☎ 025-273-4324
滋賀県支部展「草月流いけ花展〜心をつなぐ・未来へつなぐ〜」	11月8日(火)〜13日(日)　草津市立水生植物公園みずの森	井入愛華	☎ 077-585-2013
高知県支部展「伝える―私の花を明日へ」	11月12日(土)・13日(日)　ちより街テラス 3階ロビー、第1会議室	筒井紅水	☎ 088-866-2336
宮崎県支部展	11月13日(日)・14日(月)　黒木本店 第8貯蔵庫 野外ステージ	中武南羽	☎ 090-3327-4551
山梨県支部展「今を生ける」	11月19日(土)・20日(日)　山梨県立図書館 イベントスペース(西面)	五味鶯恵	☎ 055-253-1660
鹿児島県支部展「新たなる出会い」	11月24日(木)〜27日(日)　よかど鹿児島(鹿児島銀行本店ビル)	島田美佐子	☎ 099-225-4050
香川県支部展「紡ぐ〜めぐりあい」	11月26日(土)・27日(日)　栗林公園	西山麗千	☎ 0879-52-3068
大分県支部展「あしたへ 花ひらく」	12月2日(金)〜4日(日)　iichiko総合文化センター 県民ギャラリー	山口功葉	☎ 097-536-3202
静岡県支部展「一歩前へ partⅡ」	12月16日(金)〜18日(日)　遠鉄百貨店 イ・コ・イ スクエア6階ギャラリー ロゼ	大澤秀紅	☎ 055-986-4023
岡山県支部展「私の花」	2023年1月17日(火)〜22日(日)　岡山県天神山文化プラザ	三宅寿肇	☎ 086-428-2558
埼玉県支部展「花笑う」　※家元出品	2023年1月27日(金)〜29日(日)　さいたま市民会館おおみや RaiBoC Hall	岡本和絮	☎ 048-886-4011

【国営昭和記念公園にて東京西支部と座・草月による野外展が同時期に開催されます】

●東京西支部 第26回「よみがえる樹々のいのち」展　10月11日(火)〜11月27日(日)　国営昭和記念公園　問:久保田芳生　☎ 042-521-1434

●秋の夜散歩2022　10月28日(金)〜11月27日(日)　国営昭和記念公園 日本庭園　伊藤佑飛・深澤隆行・御手洗直己　問:花プロジェクト部　☎ 03-3403-5278

フラワーク

とらや赤坂本店	10月	9月27日〜10月27日	泉知萩	赤坂見附
	11月	10月28日〜11月26日	野澤彩葉	
	12月	11月27日〜12月26日	石間星桜	
ザ・キャピトルホテル東急		常設	杉岡宏美	溜池山王・国会議事堂前
赤坂エクセルホテル東急		常設	飯岡湖武孜	赤坂見附
ホテルニューオータニ東京(ロビィ階)		10月11日まで	竹中麗湖	赤坂見附・永田町・麹町
		10月12日〜11月13日	五十野雅峰	
横浜ベイホテル東急(B1階神殿口)		常設	御手洗直己	みなとみらい・桜木町
ラフォーレ原宿 2.5階 GR8		常設	座・草月	明治神宮前・原宿
ホテルエミオン京都(笹屋伊織 別邸・3階ロビー)		常設	高嶺一染	梅小路京都西
Knoll Showroom & 草月会館 2階談話室		10月20日〜24日	丹野霞園・東和霞	青山一丁目
草月会館日本間 開場時間:初日は午後から、最終日は午前中まで		10月3日〜15日	州村衛香	青山一丁目
		10月17日〜10月28日	狩野朱紅	
		10月31日〜11月12日	多賀谷丹方	
		11月14日〜11月25日	福島光加	
		11月28日〜12月10日	杉岡宏美	

本部主催支部研究会・講習会

岐阜県支部	10月2日(日)	研究会　岐阜県図書館 特別会議室	浦野忍花	☎ 0573-25-2793
青森県支部	10月10日(月・祝)	研究会　カダール(青森市男女共同参画プラザ)	小村美寿	☎ 090-5232-9246
岡山県支部	10月10日(月・祝)	研究会　倉敷市民会館 大会議室	三宅寿肇	☎ 086-428-2558
香川県支部	10月16日(日)	研究会　高松市生涯学習センター(まなびCAN)	西山麗千	☎ 0879-52-3068
岩手県支部	11月6日(日)	講習会　盛岡市総合福祉センター 4階講堂	四役滋陽	☎ 019-623-5548
長野県支部	11月6日(日)	研究会　北野美術館	山田里楓	☎ 0263-29-5400
東京南支部	11月19日(土)	研究会　草月会館	泉知萩	☎ 03-3759-7860
愛知県支部	11月27日(日)	研究会　草月WEST	竹口陽苑	☎ 0564-21-3197
奈良県支部	12月4日(日)	研究会　草月WEST	早川邦篁	☎ 0745-52-1747
宮城県支部	12月18日(日)	研究会　東京エレクトロンホール宮城(宮城県民会館)	大友春宵	☎ 022-278-4980
愛媛県支部	2023年1月29日(日)	研究会　愛媛県男女共同参画センター	栗林梅光	☎ 089-978-2959
東京西支部	2023年2月5日(日)	研究会　草月会館	久保田芳生	☎ 042-521-1434
兵庫県支部	2023年3月5日(日)	研究会　兵庫県中央労働センター 大ホール	大向佐都	☎ 079-492-8918
山形県支部	2023年5月21日(日)	講習会　山形国際交流プラザ・ビッグウイング	長谷部千仁	☎ 0238-23-5709

各地の展覧会

結成70周年記念 第36回 草月流うつぎ会展	10月2日(日)まで　名古屋市有松伝統的建造物群保存地区	広瀬典丈	☎ 0562-97-4970
セラミックパークMINO開館20周年記念 月見の宴　セラミックパークMINO 10月2日(日)まで　※期間中オブジェ作品を展示　10月2日(日)演奏会・茶会　※舞台花などを担当		古田静波	☎ 090-6646-4271
越後妻有 大地の芸術祭 2022「妻有いけばな回廊」 10月10日(月・祝)まで　まつだい「農舞台」フィールドミュージアム(新潟県十日町市) 出品者:秋山美晴、今津友青、大谷美香、大塚理司、かとうさとる、千羽理芳、長井理一、日向洋一		大塚理司	☎ 080-6517-4921
ウクライナの戦火を逃れて ミシェル・ネーワルいけばな展	10月1日(土)・2日(日)　生活あーと空間 ぱるあーと	ぱるあーと	☎ 075-231-5479
茨城県支部県南地区いけばな展	10月1日(土)・2日(日)　茨城県県南生涯学習センター	宮﨑淑穂	☎ 090-4455-8141
花のライブ in 秋の帯広 Koka with 北のルビーの会	10月2日(日)　六花亭帯広本店 4階はまなしホール　※有料	福島光加	kokafukushima@gmail.com
大人のための伝統文化・芸能体験事業	10月2日(日)　立川市女性総合センター アイム　※要申込み	今村草玉	☎ 080-5085-8871
第34回 今立現代美術紙展 Art Camp 2022 アーティスト・イン・レジデンス 福井県支部・草月陶房「いけばな草月流 越前和紙をいける」　10月8日(土)〜10日(月・祝)　草月陶房		草月陶房	☎ 0778-32-2234
森林公園Harmony with Nature 2022	10月8日(土)〜2023年1月14日(土)　国営武蔵丘陵森林公園	金田紫星	☎ 090-8016-6598
富山県支部三創会 創立60周年記念いけばな展	10月9日(日)・10日(月・祝)　富山県民会館	肥田緑仙	☎ 0766-54-1209
ikebana installation fusion Ⅱ "もりのこどう"	10月11日(火)〜13日(木)　ギャラリー懐美館(なつみかん) 代官山	石塚洸枝	☎ 090-5542-5354
第6回 Atelier Reio社中展 Transition ―ときのながれ―	10月14日(金)〜17日(月)　ANAインターコンチネンタルホテル東京	モランジュ真紀子	☎ 090-5907-0070
第57回茨城県芸術祭いけばな展	10月21日(金)〜23日(日)　ザ・ヒロサワ・シティ 本館口	大森灑泉	☎ 090-9018-8884
第7回和蒲会いけばな展〜井上和蒲 花・絆・60年〜	10月22日(土)・23日(日) 越前市役所 eホール、情報・図書コーナー、庁舎前芝生公園	土田由蒲	☎ 080-3046-4394
二流派展 秋をいける 同じ花材でいけてみたら	10月29日(土)・30日(日)　旧山崎家別邸(川越市)	大重由虹	☎ 090-1805-5453
武藤蕉朝社中展 第8回ほっとLounge 'M' お花展	10月30日(日)・31日(月)　草月プラザ	武藤蕉朝	☎ 080-6808-0031
小澤恵子社中 テキストおさらい展	10月30日(日)・31日(月)　龍昌寺(松本市)	小澤昌恵	☎ 090-7248-2026
竹内双芽教室展「大谷石花器にいける」	11月10日(木)〜13日(日)　ベルテラシェ大谷 ベルテラシェ体験館	竹内双芽	☎ 090-4177-1300
鎮魂祭「座・草月いけばなパフォーマンス」	11月11日(金) 18:30〜　草月会館 別館アトリエ　※要チケット	花プロジェクト部	☎ 03-3408-5278
草月流いけばな・メティエフローラルアート合同作品展	11月19日(土)・20日(日)　千里朝日阪急ビル 4階A&Hホール	中村俊映	☎ 06-6871-1201
いけばなグループ「ふあり」社中展 イロトリドリ PART2 11月24日(木)〜29日(火) 京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター A・B館5階ブリッジギャラリー		北村青葭	☎ 090-9830-7892

【草月会館土・日・祝日特別開館日】草月会館の特別開館日は、以下の通りです。その他の土・日・祝日は、草月会館は休館しております。
10月15日(土)、11月12日(土)、11月23日(水・祝)、12月10日(土)　※草月WESTは月曜休み、祝日はオープンし翌営業日を休みとします。

このページに掲載されているイベントは内容が変更になる場合がございます。本部にお届け済みのイベントが中止または延期となった場合は、広報部までご報告くださいますようお願い申し上げます。［ 広報部 ］ TEL:03-3408-1158 ／ FAX:03-3405-4947 ／ E-mail:pr@sogetsu.or.jp

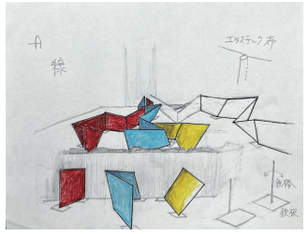
造形の多様性にアプローチし感性を磨く

インスタレーション

川名哲紀
（草月流本部講師）

●定員：40名　●会場：草月プラザ
●主な使用素材：エラスティック布、鉄板、鉄棒

いけばなは立体造形で空間を変貌させるもの。
グループワークで空間を読み解く力を向上させます。
その空間に誘発され、そこしか存在しえないインスタレーションを完成させましょう。
※ご希望の方には素材を販売する予定です。（事前申込）詳細は受講票にてお知らせします。



※写真はイメージです

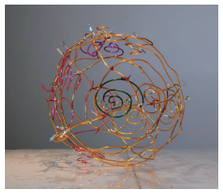
新素材の応用力を鍛える

クリスマスとお正月のいけばなをバージョンアップ！
―金の色、銀の色、虹の色―

隅出美泉
（草月流本部講師）

●定員：50名　●会場：教室
●主な使用素材：カラーワイヤー、季節の花材

変幻自在なカラーワイヤーを使って、クリスマスとお正月のいけばなに変化をもたらせましょう。１つの素材で、２つの季節をいけられる表現を求め、更なる構成力・造形力を高めます。この冬はいつもと違ったいけばなで、行事を彩りましょう。


※作品写真はイメージです

素材の潜在力と可能性を探る

モノトーン粘土の重なりで模様を描く　投入花器

飛松弘隆
（陶芸家）

●定員：36名　●会場：教室
●主な使用素材：陶土、粘土、釉薬など

平らにした黒粘土の上に様々な色の粘土を配置し、１枚の粘土の板から投入花器を作ります。時に作為的になりがちな模様やパターンたちが、潰れながら重なり伸ばされることで、予期せぬ不思議な模様を描き出します。あなただけの独特な投入花器を作りましょう。※完成作品は当日お持ち帰りいただけません。焼成後、ご来館のうえお受け取りいただくか、ご希望の方はお送りいたします。（配送料別途必要）

※作品写真はイメージです

素材と向き合う力を高める

鉄のパイプと丸棒で花器を作ろう!!

横澤昇
（アトリエ制作部）

●定員：20名　●会場：アトリエ
●主な使用素材：鉄

加工を一切していない鉄パイプと丸棒を使って、鉄花器を制作します。鉄をコークス炉で赤くして、たたいたり曲げたりすることで、鉄の特性を体感できます。花が入っていない状態でもかっこいい見映えのよい鉄花器を目指しましょう。

※作品写真はイメージです

内容に関するお問合わせ　【事業部事業課】 TEL 03-3408-1156／FAX 03-3405-4947／E-Mail kikaku@sogetsu.or.jp

A U T U M N　参加者募集
オータムセミナー
S E M I N A R
2 0 2 2

創作の秋

いけばなだけにとどまらない創作の喜びを実感できる。
草月ワークショップ「オータムセミナー」を、この秋に開催いたします。
新たな“学び”を通して、“知識”と“技術”を深められる特別な機会をお見逃しなく！

［日程］　2022年11月22日（火）・23日（水・祝）
10：30 ～ 17：00（予定）
※各講座とも１日完結の内容です。両日受けられる方は、同じ講座でも別の講座でもご受講可能です。
［会場］　草月会館全館（5階教室、4階教室、１階草月プラザ、別館アトリエ）
［受講資格］　草月指導者連盟会員　※草月流学習者も可
［内容］　ワークショップ（個人またはグループワーク）
※草月ホールでの全クラス総評は行いませんが、各クラスでの家元総評を予定しております。
［総合監修］　勅使河原茜家元
［受講料］　会員：15,700円（税込／１講座）　非会員：18,850円（税込／１講座）
［受付期間］　10月11日（火）～11月4日（金）　※消印有効
※先着順に受付。各クラス定員になり次第締め切り。※申込状況は公式ホームページでご確認ください。
［申込方法］　専用申込用紙に必要事項をご記入の上、下記の方法でお申込みください。
①ゆうちょ銀行より振込　②草月会館会員サービス部窓口
※お申込みいただきました方へ、折り返し詳細・受講場所を記載した受講票をお送りします。

過去のサマーセミナーの様子。

お申込みのお問合わせ　【会員サービス部】 TEL 03-3408-1120／FAX 03-3405-4947／E-Mail members@sogetsu.or.jp